

10/5 (金) 21:00-22:30 (90分)

ルーム名：

🌐 「誹謗中傷を根絶しよう」 共和国 🌐 #4  
～参考データや関連記事から誹謗中傷の解決策を共に考えてみませんか？～

### 【ルームの理念】

グローバル共和国が悪口、暴言、他者への誹謗中傷、口論を禁止する理念に基づき、この共和国の理念を以下に定めます。

- ①誹謗中傷により誰かの心が傷つくことを許しません。
- ②誹謗中傷によりその人の活動が停止すること、また、その人が夢をあきらめることを許しません。
- ③許されざる誹謗中傷を根絶するために、私たちは学び、気づき、そして行動できる人の輪を広げるために活動します。

尚、ルームは当面、月に1回程度の頻度で「第1金曜日21時～22:30」に開催予定をしています。

## 誹謗中傷の定義

「誹謗中傷」は法律用語ではなく、「誹謗」と「中傷」の意味が合わさった言葉です。

「誹謗」は「他人を悪く言うこと」「そしること」を意味します。「中傷」は「根拠のないことを言いふらし、他人の名誉を傷つけること」を意味します。すなわち、誹謗中傷は、「根拠なく他人を悪く言うことで名誉を傷つけること」という意味の言葉で、悪口の類義語になります。例えば、「ゴミ」「無能」などの言葉は誹謗中傷にあたります。

## 批判の定義

「批判」には、「ものごとに検討を加えて判定・評価すること」という意味のほか、「人の言動などの誤りや欠点を指摘し、正すべきであるとして論じること」という意味があります。

例えば、「感染者が増加しているのに、コロナ禍でオリンピックの開催するのはおかしい」という言葉は批判にあたります。

(出所:あまた法律事務所)

# “社会的課題” って何だろう？

誹謗中傷の撲滅は、「人権」「人の尊厳」に係る社会的課題

地理的領域】 地域・全国・国際

×

※左記以外の新しい社会的課題出現

女性（DV・性被害・産後の心と体ケア）

社会不安・犯罪防止・自殺防止・**人権**

高齢者・青少年・育児（病児保育等）

医療・介護・福祉

地方・コミュニティ活性化

就労（障害者・ニート・非正規雇用・ホームレス・職業訓練）

教育（教育格差・生涯・女性・ポストク等）

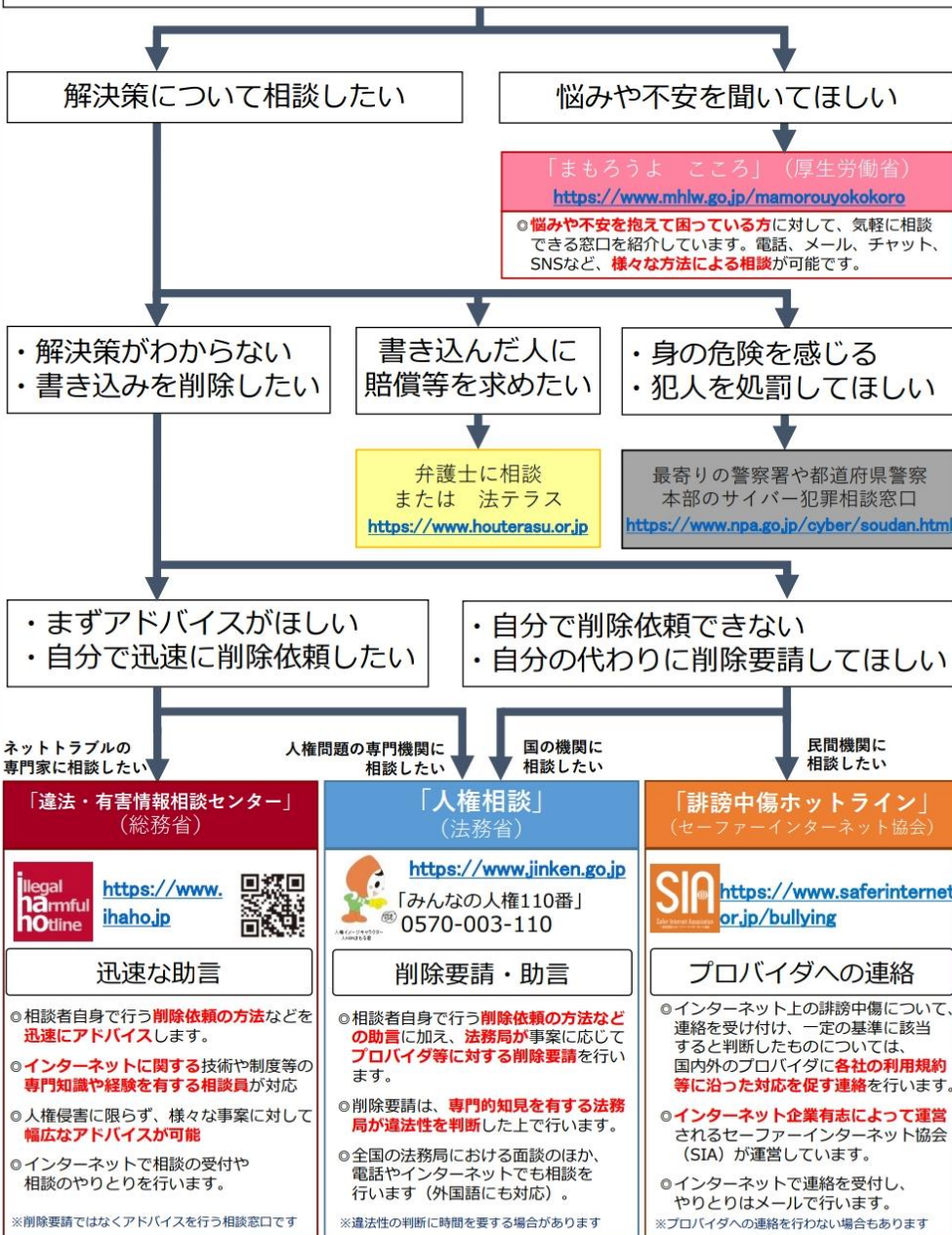
環境（地球温暖化・インフラ整備・動物保護・第一次産業等）

貧困（最貧国・途上国支援・マイクロファイナンス等）

# ○法務省のサイト

## インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口のご案内

インターネットの書き込みにより、誹謗中傷などの被害にあわれた場合



# 【小室眞子さんの10月27日の記者発表】

父の求めをどのように受け止めたかは、その後の私たちの対応に反映されています。私たちは精一杯対応してまいりましたが、どの程度応えることが出来たかについては、対応をごらんになった方が判断されることかと思えます。否定的な報道やインターネット上の書き込みについてですが、誤った情報が、なぜか間違いのない事実であるかのように取り上げられ、謂（いわ）れの無い物語となって広がっていくことには、強い恐怖心を覚えました。複雑性PTSD（複雑性心的外傷後ストレス障害）については、結婚との関係で公表することを決めました。現在の体調は決して良くありませんが、周りの方々の助けにより何とか今日まで過ごしてこられました。圭さんも、私の体調を心配し、支えてくれています。（小室眞子）

これからは、穏やかな気持ちで生活できることを期待しております。新しい環境に入るので不安は様々あります。一番大きな不安を挙げるのであれば、私や私の家族、圭さんや圭さんのご家族に対する誹謗（ひぼう）中傷がこれからも続くのではないかとことです。私と圭さんが元皇族とその夫として皇室とどう関わっていくつもりかというご質問についてですが、私がお伝えできるのは、一人の人として、皇室の方々のお幸せをお祈りしたいと思っているということです。

今回のできごとが物議となったのは、誤った情報（小室さんの米国留学は、拠点作りの前倒しで、眞子さんの意向だった）がなぜか間違いのない事実であるかのように取り上げられ、謂れの無い物語となって広がったからだと考えます。このことには、恐怖心を覚えるとともに、辛く、悲しい思いをいたしました。

## 西武松坂、妻・倫世さんに「叩かれることもあり迷惑かけた」と引退報告

1時間の引退会見で松坂は2度、涙を拭った。いずれも家族の話題。「だから会見をしたくなかったのに」と冗談で紛らわしながらも「家族なりの我慢やストレスがあったと思う。本当に長い間我慢してくれた」と言葉を詰まらせた。

それは家族を守るためだった。結果が出ないと、自分だけでなく家族にも批判の声が及んだ。「家族のことは言わないようにしてきた。妻と結婚するとき、たたかれることもあると思うけど、自分が守っていくからと言った。今思うと、それができなくて本当に申し訳ない」と目を潤ませた。禁を破った家族への謝罪に松坂の思いが詰まっていた。

2004年に元日本テレビアナウンサーの柴田倫世さんと結婚。サポートしてくれた妻に対し「結婚してもらった時も批判の声だったり、たたかれるたりすることもたくさんあると思うけど、自分が守っていくからと言って結婚してもらった。今思うと、それができなくて、本当に申し訳なかったなと思いますね。妻は本当に関係ないところでたたかれることもあった。本当に大変だったと思いますし、そんなに気持ちの強い人ではない。迷惑をかけたと思いますし、その中で、ここまでサポートしてくれて本当にありがとうございましたと改めて言いたいですね」と語った。

昨年急死したプロレスラー・木村花さん(享年22)の母の木村響子さんが12日、ツイッターを更新。11日にアクティビストの石川優実氏、コラムニストの伊是名夏子氏らが立ち上げた団体「**Online Safety For Sisters**」の呼び掛けに疑問を呈した。

元グラビアアイドルの石川氏は2019年、職場でヒールやパンプスを強制することに声を上げる「#KuToo」運動を開始。同年の英BBC「100人の女性」に選ばれるなど、大きな影響を与えたが、一方で批判の声も寄せられた。電動車いすを常用している伊是名氏は今年4月、静岡県の子宮駅で降車する際、係員の介助を求めてJRとの交渉がトラブルに発展。ネット上で批判にさらされるなどして話題となった。

こうした“炎上”被害を受けた女性達を中心に、同団体は「女性も安全にインターネットを使える社会を目指します」という趣旨で設立。11日に公開された団体の公式サイト上には「SNS上の誹謗中傷によって、自ら命を絶った人もいます。孤立させ、助けてあげられなかったことが、くやしくてたまりません」などとした呼び掛けが掲載された。

木村さんは12日、ツイッターでこの文章に「この一文、必要ですか？あなたたちがいたら、助けてあげられたんですか？そういう言葉で、わたしたちは何度も何時も無力さに心をえぐられています」と不快感を示した。さらに「誹謗中傷やハラスメントを減らす活動には賛同したいです。でも、人を救うなんて簡単なことじゃないよ あの日からずっとわたしだって救われてはいない」「今までもこれからも何千回も何万回も問い続ける どうしたら花を助けてあげられたんだろう どうしたら花はここにいてくれたの」と、当事者としての悲痛な思いをつづった。

13日には「**バッシングや誹謗中傷の連鎖を望んでいません 批判や否定をしたい訳ではなく踏みにじられた心があることを知って欲しかっただけです**」と追記。「まずは自分がしないことから始めませんか？強い言葉でなく優しい言葉でも声をあげることはできるはず」と呼び掛けた。

木村花さんは昨年5月、都内の自宅で急死。花さんは当時、フジテレビの恋愛リアリティー番組「テラスハウス」に出演しており、同番組内での行動をめぐってSNS上で数多くの誹謗中傷を受けていたことが問題視されていた。